

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームほしくぼ

作成日 : 平成 22 年 12 月 6 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	食事介助の場面や家族向けの記事の表現、ポータブルトイレ周辺環境やトイレのドアの開閉・カーテン使用の徹底等の対応が不十分である。	利用者の尊厳の保持の概念は、多岐にわたり、実際のケアを振り返り確認しプライバシーの徹底を図る。	ミーティングでケアの確認を行いプライバシーの徹底を図ると共に勉強会を継続して行う。	3ヶ月
2	11	職員からの要望、意見が出ないことが多い。	代表者、管理者は職員が積極的に意見を言いやすい環境作りについて検討し、出された意見については具体的に対応する。	代表者、管理者メンター制度個別支援の研修会に参加し、メンター制度の導入を行い職員の意見 要望等を言いやすい環境作りに努める。	5ヶ月
3	35	通報装置や消火設備が無く、備蓄等が備えられていない。	独自で出来る設備等の対策を進めるとともに、消防や地域の住民を巻き込んだ訓練の実地。	自動火災報知設備、火災報知設備、スプリンクラーについてはH22年度内に助成金があり取り付ける予定がある。H22,11には消防署員の参加の元訓練を行う。次回の訓練は、近隣の住民の参加や字の消防団の参加が出来るようにしたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。